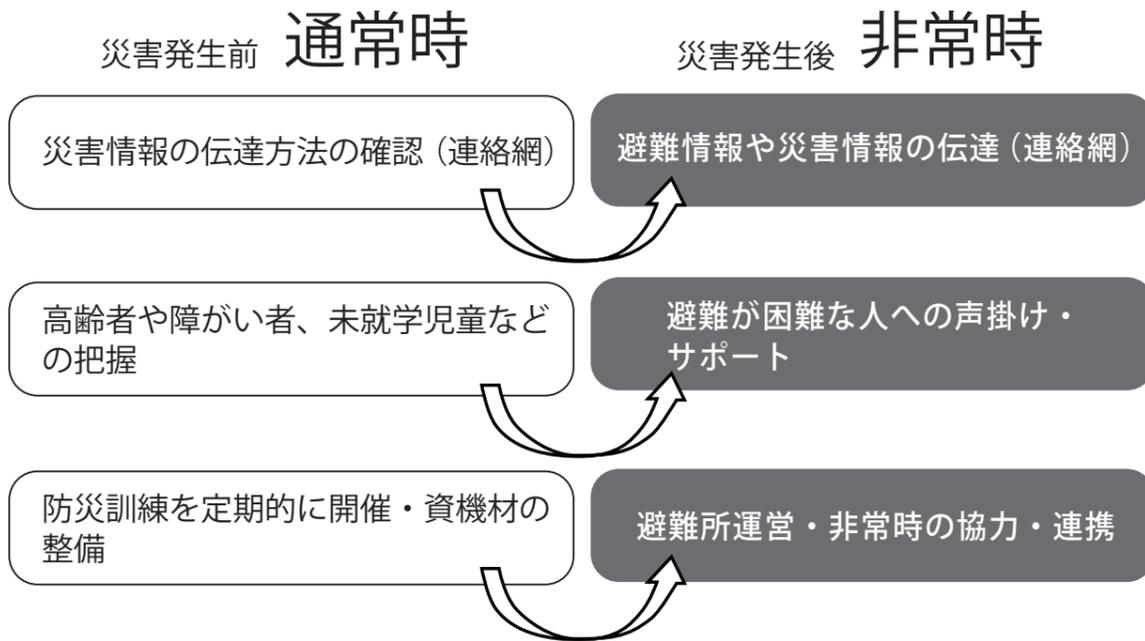


地域における共助の活動について



「防災の活動を地域で行いたい」 そうしたら…

▼町内会・自治会で新たに防災への取組を行いたい「やり方がわからない」「コロナが心配」といった声をよくお聞きします。

市では、そういった声に答えるため、以下のサポートを行います。

(1) 防災活動をサポートします！

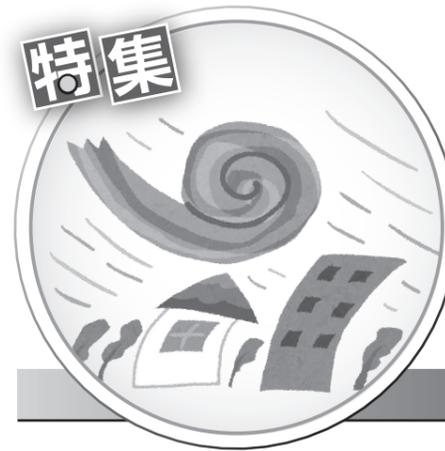
- ・防災訓練の内容を提案します。
- ・他町内会の事例などをご紹介します。
- ・避難訓練の運営を補助します。
- ・職員による防災講話を実施します。

(2) 防災訓練・講話における新型コロナウイルス感染症対策を支援します！

- ・消毒用アルコールや非接触型体温計を貸し出します。
- ・会場の感染症対策を監修します。

(3) 炊き出し訓練に係る備蓄用食料の提供

- ・防災訓練で炊き出し訓練を行う場合、使用する食料を提供します。
(市で備蓄している賞味期限の近い食料を提供します)
※種類や個数に限りがございます。早めにご相談ください。



共助の役割と、 自主防災組織

市では、令和元年度から自主防災組織への助成金制度を設け、地域防災力の向上、防災組織への支援などを推進しています。

問 市・危機対策室 TEL 56-5005

安心・安全な地域づくりへ

助け合いの避難活動を

▼「共助」とは、災害時の避難に支援を要する方に協力したり、地域の方々と消火活動を行ったりするなど、地域での助け合いを言います。

日本各地で発生した大規模な災害では、共助による、助け合いの避難活動によって地域住民が協力し、たくさんの尊い命が救われました。

周囲からの声掛け日頃からの備えを

平成 23 年に発生した、東北地方に甚大な被害をもたらした「東日本大震災」は、多くの死亡者や行方不明者、けが人を出しました。

内閣府の実態調査では、けが人の多くが逃げ遅れた理由を「過去の地震でも大きな津波が来なかった」「今まで大津波警報が発令されても大した津波は来なかった」と答えている一方で、避難行動に至ったきっかけについては、回答者の 3 割が「周囲からの声掛け」と答えています。



災害時には、近隣の住民などによる声掛けや、日頃からの備えがとても重要です。

自主防災組織を設置しませんか？

自主防災組織とは、「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方の下、自主的に防災活動を行う組織（町内会等）を言います。

自主防災組織の設置についてお考えの場合は、市総務部危機対策室（電話：56-5005）へご連絡ください。